

医療・介護の負担増の中止を求める請願署名

今こそ ストップ! 患者負担増

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

請 願 の 趣 旨

今年の通常国会では、さらなる医療や介護の負担増が提案されています。

国会で提案される内容は、①70歳以上の高齢者の患者負担限度額(高額療養費)を引き上げる(入院等の場合、年収370万円以下の課税世帯は4万4400円から5万7600円に引き上げ)、②65歳以上の療養病床の患者に対し、光熱水費の負担を増やす(月額1万1100円に)、③後期高齢者の低所得者などの保険料を1.5~10倍に引き上げる、などです。

しかも、「受診するたびに定額の窓口負担」や「薬局で買える薬は保険からはずす」など、あらゆる世代を対象とした負担増は引き続き議論されます。

格差や貧困が広がり、年金制度への不安がつのるなか、私たちの負担はもう限界です。私たちは、以下の事項を求めます。

請 願 事 項

一、医療・介護の負担増を中止してください

- ・ 受診するたびに定額の窓口負担を上乗せしないこと
- ・ 湿布薬、痛み止め、うがい薬、漢方薬などを保険からはずさないこと
- ・ 70歳以上の患者負担限度額(高額療養費)を引き上げないこと
- ・ 入院時の光熱水費の負担を増やさないこと
- ・ 後期高齢者の保険料を引き上げないこと
- ・ 介護利用料の引き上げをはじめ、介護分野の負担を増やさないこと



お 名 前	ご 住 所

※この署名は、憲法16条で保障された請願権にもとづいて行うもので、国会請願以外の目的に使用しません。

(取扱い医療機関、団体)